

2024年10月28日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル ニカラグア国 リオ・ブランコーシウナ間橋梁・国道整備事業 起工式

2024年10月24日ニカラグア国ムルクク市にて、当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二 以下：OC Global）が詳細設計及び施工監理のコンサルティングサービスを担当する「リオ・ブランコーシウナ間橋梁・国道整備事業」*の起工式が行われました。

式典にはニカラグア側から Oscar Mojica 交通インフラ省大臣、Genera Mendez ムルクク市長、日本側から荻野正裕 在ニカラグア特命全権大使、小谷知之 JICA ニカラグア事務所長にご列席頂き、両国関係者や地元民の歓迎のもと盛大に執り行われました。

*橋長 176m、トラス橋 施工：JFE エンジニアリング



完成予想橋梁全景



右から2番目 Mojica 大臣
右 荻野正裕大使
中央 小谷知之 JICA ニカラグア所長
左から2番目 OC Global 道路交通事業部技師長 竹内友昭さん



荻野大使、小谷所長、OC Global 及び JFE 関係者
との記念撮影



Mojica 大臣によるスピーチ



荻野大使によるスピーチ

写真出典：El 19 Digital

カリブ海沿岸地域はインフラ整備が遅れており、中でも北部カリブ海自治地域は貧困指数が高く、当国政府が開発重点地域に定めています。リオ・ブランコーシウナ間幹線道路(国道 21B 号線の約 115km)は、首都マナグアから RACCN (北部カリブ海自治地域) に繋がる重要道路で、同地域で生産される農牧林業生産品の輸送路及び沿線住民のライフラインとして重要な役割を担っています。道路の舗装状況は劣悪でしたが、近年大西洋北岸のプエルト・カベサまでコンクリート舗装工事がほぼ完成し、アクセスが改善されました。一方、橋梁は通行に危険が伴うものがあるなど輸送のボトルネックとなっています。本事業はリオ・ブランコーシウナ間幹線道路の橋梁を整備することにより、当該区間の運輸・交通の改善を図り、もって同地域の市場アクセスの改善を通じた経済の活性化に向けた基盤づくりに寄与することを目的としています。

OC Global は質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱なインフラ整備を通じて、当該国の経済発展を支援しています。



以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
担当 広報室 富田早季
TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020
[URL:www.ocglobal.jp](http://www.ocglobal.jp)